

中学生実験講座

8月18日（火）・19日（水）に開催したオープンスクールの2日間、伊勢高校のSSH事業について中学生に広く公開することを目的として、午後に「中学生実験講座」を行いました。1日目は45人、2日目は29人の中学生の皆さんに参加していただきました。

2日間とも同じスケジュールで、最初に、視聴覚室でSSアドバンス探究Ⅰの生徒3人が探究活動の成果「地盤への酸性液体注入による液状化対策の可能性について」を発表し、そのあと、中学生の皆さんは、自分が希望した科目の講座に分かれました。物理講座では「波動」の実験を通して、教室を歩き回って音の聞こえ方が違うことを確かめたり、おんさの波長を実際に計算してみたりしました。実際の数値と近い計算結果が出ると歓声があがりました。化学講座では「液体窒素」の実験を通して、風船、花、バナナ等を凍らせ、超低温の世界を体験しました。参加者のみなさんからは、「予想が当たってなくても、新しい発見になった」「液体窒素の意外な使い道を知れた」などの感想がありました。生物講座では、生物の進化をシミュレーションする「折り紙バード」の実験を行いました。今中学校で学習していることが、高校での学びにつながっていると感じる人ができた人もいたようです。

この取組を通じて、科学の世界への興味が高まったなら、大変嬉しいです。中学生のみなさん、伊勢高校と一緒に学ぶ日を心待ちにしています！

